

## [07] エネルギー史研究ノート表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/13831>

---

出版情報：エネルギー史研究ノート．7，1976-10-15．エネルギー史研究会  
バージョン：  
権利関係：

には多久の坑主らが協議して運炭舎を設立し、三菱会社と深い関係をもつようになる。三井と三菱の対立・競合は肥前小城郡・東松浦郡の小天地をめぐるすでに明治一〇年代に見られ、後年まで継続しているのである。

〔後記〕

小稿は秀村「明治前期肥前多久地方における石炭運送体系の胎動」(「官本又次博士古稀記念論文集」所収)と関連するものである。小稿をまとめるにあたり、佐賀県立図書館、多久市立図書館、福岡博氏、細川章氏に種々御世話になった。紙上を借りて感謝の意を表す。

執筆者紹介(執筆順)

和田 一夫	一橋大学大学院経済学研究科博士課程
宇田川 勝	法政大学専任講師(経済学部)
秀村 選三	九州大学教授(経済学部)
福沢 重利	直方市石炭記念館館長
川内 昇	多久市長公室室長
入江 寿紀	西日本鉄道本社勤務
町田 保次	佐賀行政監察局勤務
細川 章	多久市立図書館司書
佐合藤三郎	元『労務管理年誌』編集委員
東定 宣昌	第一経済大学専任講師
坪内 安衛	私設伊万里湾域石炭産業史資料室 (元立川鉱業所労組委員長)
今野 孝	麻生セメント本社工史資料室勤務
今津 健治	神戸大学助教授(教養部)
八田千恵子	佐賀新聞記事目録年表